

国際ロータリー第2560地区
ガバナーテーマ

「夢 (gift) を明日へ
つなげよう」

高田ロータリー今年の
スローガン

「ロータリーは親睦と
奉仕の融合」



2015～2016年度

国際ロータリー会長 K.R.ラビンドラン
2560地区ガバナー 山本 和則
高田ロータリー会長 水上 喜芳
幹事 大島 誠

事務局:新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号
TEL (025) 526-3288 FAX (025) 526-3534
メールアドレス: takadarc@joetsu.ne.jp
例会場: デュオ・セレッソ TEL (025) 526-3111

クラブ広報・会報・雑誌委員

田中 正人 小熊 貞良 栗田 修行
笠谷 吉春 小林 豊茂 霜村 浩

第43回例会 ■ 5月27日(金)

No.41

会長挨拶 ● 水上 喜芳



皆さんこんにちは。

高田 RC の今年度会長の水上です。本日は今年度の高田 RC の目標であります、『より多くの地域の皆さんや、次世代を担う若い人たちにロータリークラブを知って頂こう』と言う目標のため、大勢のお客様を例会に、ご招待しました。

今日は、ようこそ例会にお出で頂き、ありがとうございます。

また、今日は次年度佐藤ガバナー補佐の訪問、そして米山奨学生の紹介と、盛りだくさんの内容となっています。

会長挨拶の持ち時間は限られていますが、少しロータリークラブについて紹介させていただきます。

ロータリークラブは、今から約 110 年前の 1905 年アメリカシカゴで誕生しました。

創設者は弁護士のポールハリス 38 才です。

誕生以来 110 年、その『奉仕の精神』が世界各地に広がり現在の会員は世界で約 120 万人、日本では約 9 万人になります。

その基本精神は『奉仕の精神』をもって『世界の平和と幸福』を追求することです。

そのため、世界のロータリー会員は自分の出来る範囲の寄付を行い、その寄付はロータリー財団でまとめられ、ロータリーの奉仕の事業財源として再び世界のロータリークラブに還元され、奉仕事業に充てられます。

奉仕事業として、それぞれのロータリークラブの身近な事業では、高田公園や儀明川の植樹であり、世界的には紛争の防止、識字率向上、飲料水

の確保、災害復旧、或いはポリオの撲滅などに、その寄付財源が使われています。

特にポリオ撲滅では、30 年の長い歴史と、発症率 99.9% 減少と、あと一歩と言うところまで来ています。

また、青少年の育成にも力を入れ、日本からの海外留学生そして海外から日本への留学生に対しロータリー独自の『奨学金制度』を持って支援しています。

この奨学金制度は、貸与型奨学金ではなく完全な給付型奨学金です。

後ほど紹介しますが本日の例会に出席していません米山奨学生の白麗萍さんもその一人です。

短い時間では語りつくせませんが、是非少しでもロータリークラブの『奉仕と親睦の精神』をご理解頂ければ幸いに存じます。

明日から 6 月 1 日まで今年度のロータリー国際大会が、お隣韓国ソウルで開催されます。

そちらの方に、私と幹事の大島さん、そして東山 PG、次々年度会長の橋詰さん、と参加してきます。

本日の卓話は京美容室の関原英美子様からお話を頂きます。



出席報告

出席率 98.11%

ビジター



佐藤明臣君（次期ガバナー補佐／新井RC）

お客様の紹介

(株)東北測量設計社 代表取締役 古川正美さん
上越福祉会 統括園長 釜田英一さん
上越ケーブルビジョン 放送部 沢田真紀さん
森岡由紀子さん 牧野奈津美さん
大島グループ本部 重嶋友子さん 小林優子さん
米山記念奨学生 白麗萍さん

メイクアップ

水上喜芳君・大島 誠君（5/21 十日町 RC 創立60周年）
牧野章一君・小林 元君・高坂光一君（5/21 第3回地区行事）
東山昕也君（5/26 越後春日山 RC）

セレモニー



米山記念奨学金贈呈 白麗萍さん（米山記念奨学生）

委員会報告

出席・ニコニコBOX委員会

佐藤明臣君（第7分区次期ガバナー補佐）——次年度よろしくお願ひします。

小林豊茂君——6月24日付にて執行役委員の内命を受けました。今後とも上越地域のために尽力して参りますので、宜しくお願ひ致します。

幹事報告

配布物：週報No.40

回覧物：米山記念奨学生 白麗萍さん 履歴書
報告：「上越 職場の発達障害を考える会」事務局を社みんなでいきるへ移管します。
6月のロータリーレート 110円/ドル

6月例会プログラム

回	日	講演者：演題	会場
44	6月3日	移動例会：職場訪問 ～(株)岩の原葡萄園～	岩の原葡萄園
45	6月10日	クラブフォーラム	デュオ・セレッソ
46	6月17日	クラブフォーラム	デュオ・セレッソ
47	6月24日	最終例会	デュオ・セレッソ

卓話

あなたの知らない美容室の世界



有限会社京美容室 代表取締役 関原 英里子様

皆さまこんにちは。今日は美容室の世界を少しのぞいていただこうと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

私は美容室を営む家に生まれました。母が営んでいました京美容室を継がせていただき、平成9年に法人化し、今年で19期を迎えます。美容サロンは市内に3店舗、エステ、ネイル業務の他、ブライダルは2会場、新潟市にヘアメイクの事務所を設けております。

まず、美容室・美容師とは？から入ります。

美容室は化粧やパーマなどで容姿を美しくする場所です。床屋さんはカットなどで容姿を整える場所です。これは法律で決まっております男性の髪をカットしてはいけないことになっています。しかし最近法律の改正により可能になりました。美容師の一日は過酷な重労働です。ほぼ一日立ちっぱなしで、業務が終了しても、その後夜遅くまで勉強があります。忙しい日は中々食事を取ってられず、立ちながら食べることもあります。また、勉強に係わる講習会費、道具、材料など自費にな

り、その時間は残業も付きません。長い間の徒弟制度のおかげで仕事を教えてやっているんだからということで、賃金も低いところが多いです。結果、離職率が高く、社会保険加入率も低い職場です。そこで、弊社は社員が長く勤務してもらうため、労働環境の改善をし、一生働ける美容室を企業目的としています。

事業目標はお客様の一生を寄り添う美容室として、子ども専用美容室→学習塾→ブライダル業務→設計事務所→ネイル・エステのように、お客様の年齢に合わせた事業をしています。（主人が学習塾と設計事務所をしています）改善をしたおかげで、毎年のように社員が結婚をし出産をしています。現在も2名が産休・育休を取得しています。

女性が一生美しくいてほしい想いをすべてのスタッフが仕事を通してお客様に接しています。美容師になる人は、お客様が綺麗になっていく姿を見るのが大好きです。そのために日々勉強をし、知識と技術を身に付けています。一生お客様に寄り添うために、一生勉強する。そんな美容師をこれからも育てて行きたいです。